

所長の模型部屋（第6回）

みなさん、こんにちは。いかがお過ごしですか？

先日、小学3年の娘が何故かガンブラを作りたいと言うので、1/144のガンダムとザクを買ってあげました。最初は一緒に楽しく作っていたのですが、塗装の段階でヘタな塗り絵のようになってしまい、あまりにも耐えられなくなった私は「せめてザクだけはちゃんと作らなくては・・・」と娘から取り上げ、真剣に作ってしまいました。娘は「あたしのザクなのに・・・」とションボリ。大人げないですね・・・

さて、今回はイラク人道復興支援活動に参加した

軽装甲機動車です。



タミヤから発売された軽装甲機動車はダイキャストシャーシなのでプラシャーシに比べて歪みがないので作りやすいですね。その後、汎用型が出るかなと思っていたのですが、出ることもなく現在に至ってます。派遣された車両の実物を見たことはないのですが、汎用型を富士転地演習で見たことがあります。エアコンも付いていて意外と快適な印象を受けました。写真は撮れなかったのですが、自分で要図を書いて色を塗って、後の塗装の参考にしました。あの時のドライバーは変なヤツと思っていたでしょうね・・・



車内はキットのままで忠実にモデル化されています。ただ、ドアの塗り分けが説明書では不十分でしたので、実車を確認した後に塗っています。



フィギュアは当然自分が着ていた迷彩服を見ながらイメージが近くなるように塗装してみました。迷彩服の塗装は、時間が掛かるので家では実施せず、部隊の厚生旅行の際にキットと道具を持って行き、みんながスキーや温泉に浸かっているときに、ホテルの部屋で黙々と塗っていました。「今まで色々な人を見てきましたが、厚生旅行でプラモを、それも塗装までしている人を見たのは初めてです！」と中隊の後輩に言われました。だって、家では子供が邪魔するんだもん……



現地では車両を水で洗えないので、せめて日の丸だけは綺麗にしようと、ウェス（拭き取り布）で泥を拭き取っていたそうです。そんなこともあり、日の丸の部分はウェザリングの後、綿棒で拭き取ってみました。実車の汚れ具合を見ていないので、ちょっと違うかも・・・さて次回は



です！もうお分かりですね。

ではまた